

静教組のめざす「ゆたかな学び」とは…

互いの人権を尊重し合い、学びの中で、必要な知識・技能、感性、思考力・判断力・表現力等を身に付け、自己肯定感をもって自分の生き方を問い合わせること。



ゆたかな 学びを求めて

概要版



ゆたかな学び

～互いの人権を尊重し合い、学びの中で、必要な知識・技能、感性、思考力・判断力・表現力等を身に付け、自己肯定感をもって自分の生き方を問い合わせ続ける～

ゆたかな学びを育む学校づくり

(1) 「生きてはたらく力」を育む学びづくりのために

- ① 知識・技能と思考力・判断力・表現力等をバランスよく育てる。
- ② コミュニケーション力の育成を図る。
- ③ 学校や地域の実態に応じたカリキュラム編成をすすめる。

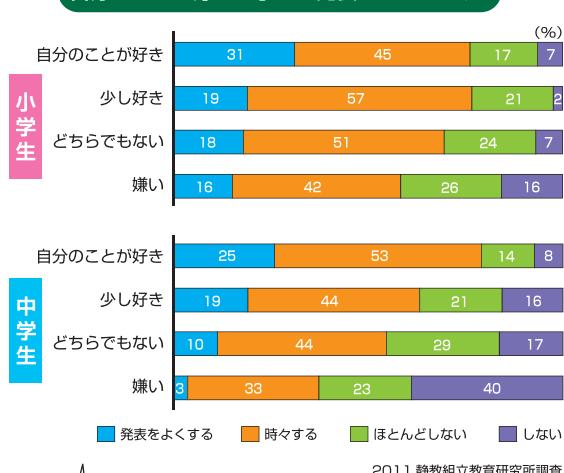
(2) 共生社会を生きる市民の育成のために

- ① 自己肯定感を育む。
- ② 多面的な視点で捉え、課題を解決していこうとする力を育てる。
- ③ 総合的な労働観の育成を図る。

(3) 学校・家庭・地域が一体となる体制づくりのために

- ① 協力協働による学校運営をすすめる。
- ② 子どもたちの意見反映の機会を保障する。
- ③ 応援団としての教育委員会の機能充実を求める。

自分のことが好きな子ほど発表をよくします！



自己肯定感が高い子（＝自分のことが好きな子）ほど授業や話し合いで積極的に自分の意見を発表することがわかります。

(1) 学びやすさが実感できる学習環境づくりのために

- ① 少人数学級、学校裁量権の拡大を実現する。
- ② 学校での多様な人材の配置を求める。
- ③ 家庭の教育費負担の軽減を求める。

(2) 地域との連携による学びの環境づくりのために

- ① 学校をとりまく地域の学習環境を整備する。
- ② 総合型地域クラブへの移行を図る。

(3) 学ぶ意欲と継続性が尊重される教育の推進のために

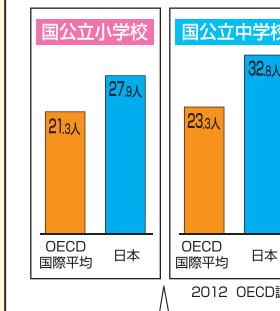
- ① 子どもの学びの段階を見通した連携教育をすすめる。
- ② 魅力ある高等学校づくりを求める。
- ③ 学びの継続性が生かされる制度の確立を求める。

(4) 安心安全な学びの環境づくりのために

- ① 非構造部材の耐震化を求める。
- ② 防災減災教育の充実を図る。
- ③ 学ぶ喜びと感性が育まれる「空間」をつくる。



日本の学校は1クラスの
人数が多い！



1クラス35人以下を望む
保護者が約90%に！

